

令和2年度

協会けんぽ愛知支部の運営方針

2018

2019

2020

基本使命

保険者として、健康保険事業及び船員保険事業を行い、加入者の皆様の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の利益の実現を図る。

上記の基本使命を確実に実施するため、3つの機能に分類して目指すべき方向性を定める

基盤的保険者機能

- 現金給付の適正化等を推進することにより、加入者および事業主の信頼が得られる公正な運営を行う
- 現金給付等の業務処理の標準化・効率化・簡素化を徹底し、併せて業務量の多寡や優先度に応じた業務処理体制および効率的な手法を取り入れることで、業務の生産性の向上を目指す

① 現金給付の適正化の推進・効果的なレセプト点検の推進

不正疑い案件に対する事実関係調査の徹底、二重給付の防止、患者や施術者への照会を通じた過剰受診の抑制
コンピュータによる自動点検を柱とした効果的・効率的な点検の実施

② 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進

保険証未回収者への早期返納催告、被保険者証回収不能届を活用した電話催告の強化、保険者間調整・法的手続きの積極的実施

③ 業務改革の推進に向けた取り組み

小集団による業務改善活動の実施、業務の効率化の推進

戦略的保険者機能

- 事業主、自治体、経済団体等と連携して加入者の健康の維持・増進を図る
- 地域の医療提供体制の在り方にも積極的に関与し、効率的かつ無駄のないサービスが提供されるよう働きかけを行う

① データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

「特定健診・特定保健指導実施率の向上」「重症化予防対策」「健康宣言事業を中心とした事業所や自治体等とのコラボヘルスの拡大」の取り組み

② インセンティブ制度の取組み

健診受診率やジェネリック医薬品の使用割合等の向上に向けた重点取り組みの推進、加入者や事業主へ制度周知の丁寧な広報

③ 医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ

地域ごとの実態や偏りを踏まえ、ビッグデータや見える化ツール等を活用した、エビデンスに基づく加入者目線での効果的な意見発信

組織・運営体制の強化

- OJTを中心とした研修を効果的に組み合わせ、「現場で育てる」という組織風土を醸成し、個々の職員には「自ら育つ」意識を持たせる人材育成を行う
- 基盤的保険者業務の効率化を進め、戦略的保険者業務へ人員を適正に配置する
- 健康経営を進める保険者として、自らも身体も心も社会的にも健康な人づくりと、風通しのよい一体感のある職場を目指す

支部の基本戦略

「県内トップの保険運営」「加入者・事業主への質の高いサービス」を目指す

他団体との連携
共同事業の実施

県、市町村、医療関係者、
経済団体、関係団体等

事業所における
サポーターの養成

健康宣言事業所・健康保険委員
の拡大とニーズに応じた
情報・サービスの提供

加入者目線の広報
業務の効率化

事業のわかりやすい周知
小集団業務改善活動